

既存市街地の生活環境に関する住民意識調査

秋田工業高等専門学校 正会員 ○谷本真佑
 秋田工業高等専門学校 中川稔希
 秋田工業高等専門学校 木島瑠依
 秋田工業高等専門学校 船木 航

1. はじめに

近年、郊外部への都市整備に伴う既存市街地の活力低下を受け、既存市街地の活性化に向けた取り組みが各地で行われている。

本研究では、秋田市内で古くからの市街地として知られる土崎地区を対象とし、交通・商業・治安等の様々な側面から見た生活環境評価と、地区全体の総合評価との関連性について分析を行った。さらに、地区に対する住民の考え方が両者の関連性に与える影響を分析し、住民による地区の満足度が生活環境以外にも影響を受ける可能性について検討した。

2. 研究方法

(1) 研究対象地域について

秋田市土崎地区は、秋田市中心部から北へ約7km離れた場所に位置している。当該地区は、江戸時代には北前船の寄港地として栄えるなど、古くからの港町として知られている。地区内には秋田港や国道7号、JR奥羽本線の土崎駅が立地するなど、主要な交通施設が集まっている。秋田港を中心とした臨海部には港湾や工業施設が集積し、土崎駅周辺は住宅地や商業地が集積している。

平成22年10月末日現在、土崎地区の人口は約21,300人で、およそ8,600世帯が居住している（平成22年国勢調査）。

(2) 調査実施概要

本研究では、土崎地区の生活環境に関する計15項目についての評価等をたずねるアンケート調査を、2014年12月5日から2015年1月23日に実施した。調査対象地域は、研究対象地域から無作為に抽出された地区（図-1）とした。当該地域の全3,771世帯に郵送で調査票を配布し、同封の返信用封筒により郵送回収する方法をとった。アンケート票を1世帯に1部配布したところ、838通の有効回答が得られた。有効票の回答者属性を表-1に示す。

(3) 分析方法

本稿では、土崎地区の生活環境評価と総合評価の関連性について分析を行った。さらに土崎地区の将来性に対する認識が生活環境評価と総合評価の関連性を与える影響を分析を行った。

調査では、各生活環境評価項目ならびに土崎地区の

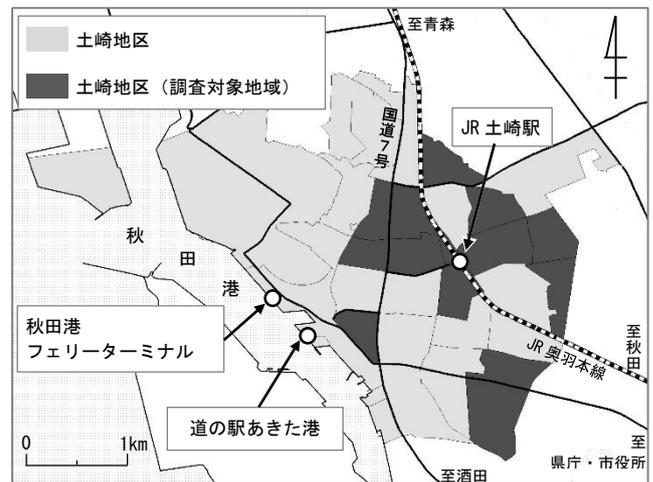


図-1 研究対象地域（秋田市土崎地区）

表-1 回答者属性

	男性	女性	計
10代	0.4%	0.0%	0.4%
20代	1.2%	1.8%	3.0%
30代	3.5%	5.7%	9.2%
40代	5.8%	8.4%	14.2%
50代	11.6%	9.9%	21.5%
60代	18.5%	12.5%	31.0%
70代	15.0%	5.7%	20.8%
計	56.0%	44.0%	100.0%

(n=838)

将来性に対し「満足（とても感じる）」「やや満足（やや感じる）」「どちらでもない（同）」「やや不満（あまり感じない）」「不満（全く感じない）」の5段階で評価していただいた。分析に先立ち、得られた結果を2項目に集約し、「満足（とても感じる）」「やや満足（やや感じる）」を満足（肯定）側回答、それら以外を非満足（否定）側回答として分析を進めた。

まず、生活環境評価および総合評価の結果に基づき、回答傾向の類似性による各質問項目の分類を試みた。

次に、分類された質問項目群より、総合評価との回答傾向の高い質問項目を抽出し、生活環境項目と総合評価との間に求められたオッズ比を算出し、両者の関連性について分析した。

最後に、土崎地区の将来性を感じる回答者群と感じない回答者群に分類し、回答者群別に生活環境評価項目と総合評価との関連性を分析した。

表-2 生活環境項目と総合評価の関連性

		全回答者(n=838)			将来性を感じる(n=186)		将来性を感じない(n=652)		
		回答者数	総合評価への満足割合(%)	粗オッズ比	調整オッズ比	粗オッズ比	調整オッズ比	粗オッズ比	調整オッズ比
公共交通の 利便性	非満足	435	30.1	1.00	5.16	1.00	—	1.00	6.19
	満足	403	73.0	6.26		4.50	6.76		
商業施設の 充実度	非満足	547	36.9	1.00	—	1.00	—	1.00	—
	満足	291	76.6	5.60		6.38	5.26		
小中学校の 充実度	非満足	316	25.9	1.00	—	1.00	—	1.00	—
	満足	522	65.7	5.47		6.61	5.01		
地域の人との つながり	非満足	476	34.9	1.00	—	1.00	—	1.00	—
	満足	362	71.5	4.70		4.44	4.33		
積雪時の 地区内移動	非満足	694	43.1	1.00	—	1.00	—	1.00	—
	満足	144	87.5	9.25		6.37	8.99		
医療施設の 充実度	非満足	305	24.9	1.00	—	1.00	3.22	1.00	—
	満足	533	65.5	5.72		7.69		5.26	
地区内の車の 運転しやすさ	非満足	552	35.0	1.00	3.80	1.00	2.48	1.00	3.93
	満足	286	81.1	7.99		5.31		8.37	
歩道の 歩きやすさ	非満足	647	42.2	1.00	—	1.00	—	1.00	—
	満足	191	79.6	5.34		7.22	4.66		
子供の遊び場の 充実度	非満足	667	42.6	1.00	—	1.00	—	1.00	—
	満足	171	82.5	6.34		4.95	5.97		
大気汚染や 騒音の少なさ	非満足	414	32.6	1.00	—	1.00	—	1.00	—
	満足	424	68.4	4.47		9.09	3.74		
イベントや行事の 充実度	非満足	534	35.4	1.00	—	1.00	—	1.00	—
	満足	304	77.6	6.34		6.57	5.46		
子育て環境	非満足	560	33.4	1.00	7.19	1.00	—	1.00	6.70
	満足	278	85.6	11.87		10.40	11.17		
福祉施設の 充実度	非満足	602	37.9	1.00	—	1.00	5.77	1.00	—
	満足	236	83.5	8.29		13.12		6.38	
他地区への 移動しやすさ	非満足	481	30.6	1.00	—	1.00	6.04	1.00	—
	満足	357	77.9	8.00		14.90		7.03	
地区内の 治安	非満足	394	23.4	1.00	8.23	1.00	—	1.00	8.52
	満足	444	75.0	9.85		9.23	10.00		
(定数項)		—	—	—	0.06	—	0.24	—	0.05

99%信頼区間に
て有意性が示
された値

3. 分析結果

(1) 生活環境評価と総合評価の回答傾向

表-2は、生活環境項目と総合評価の関連性についてオッズ比にて分析した結果を示している。全回答者を対象とした粗オッズ比をみると、いずれの生活環境項目も満足側回答の粗オッズ比が99%信頼区間で有意性が示され、各生活環境項目に満足するほど総合評価も満足する傾向が統計的に示された。

(2) 生活環境評価と総合評価の関連性

前節で得られた結果を基に、回答傾向の類似した生活環境項目をクラスター分析にて分類し、その中から総合評価との回答傾向が最も類似している項目を抽出した。抽出項目と総合評価との関連性について、独立変数間の交絡の影響を取り除いた影響度を示す調整オッズ比にて分析した。

抽出された「公共交通の利便性」「地区内の車の運転しやすさ」「子育て環境」「地区内の治安」はいずれも99%信頼区間で有意性が示され、この中でも「治安」「子育て環境」が総合評価との関連性が比較的高い結果が示された。

(3) 地区の将来性に対する認識の影響

土崎地区の将来性を感じる回答者(n=186)と感じない回答者(n=652)に分類し、前項までと同様に生活環境項目と総合評価の調整オッズ比を算出した。土崎地区に将来性を感じる回答者は、「医療施設の充実度」「福

祉施設の充実度」「他地区への移動しやすさ」で総合評価との有意な関連性が認められ、いずれも将来性を感じない回答者群とは異なる生活環境項目が抽出された。「地区内の車の移動しやすさ」では有意な関連性が見られなかった。

4. まとめ

本研究は、古くからの市街地である秋田市土崎地区を対象に、住民意識調査に基づく生活環境評価と総合評価の関連について、土崎地区の将来性に対する回答者意識を考慮して分析を行った。分析結果から、将来性を感じるか否かで地区の総合評価と関連する生活環境項目が異なることを明らかにし、住民の満足度は生活環境以外の要素にも左右されることが示唆された。

今後は、回答者の居住年数や地域との関わり方など、個人属性との関連を詳細に分析する予定である。

参考文献

- 1) 谷本真佑, 南 正昭: 岩手県沿岸北部を対象とした公共交通の確保に関する研究, 土木計画学研究・講演集, 第35巻, CD-ROM, 2006.
- 2) 谷本真佑, 南 正昭: 盛岡市の都市開発地区における生活環境評価, 土木学会東北支部技術研究発表会講演概要集, 第45巻, CD-ROM, 2008.